

ATH-CKS50TW

ワイヤレスイヤホン

取扱注意ガイド

ご購入ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱注意ガイドを必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

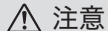
■ 安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起ることがあります。事故を未然に防ぐために次の内容を必ずお守りください。

	危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
	警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
	注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

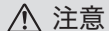
■ イヤホンについて

	警告
●本製品を医療機器の近くで使用しない 電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。 ●航空機内では航空会社の指示に従い適切に使用する 電波が影響をおよぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。 ●自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない 電波が影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。 ●分解や改造はしない 感電、故障や火災の原因になります。 ●強い衝撃を与えない 感電、故障や火災の原因になります。 ●濡れた手で触れない 感電やけがの原因になります。 ●異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない 異常に気付いたらすぐに使用を中止して、お買い上げの販売店か当社サービスセンターに修理を依頼してください。	●水をかけない 感電、故障や火災の原因になります。 ●本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない 感電、故障や火災の原因になります。 ●布などで覆わない 過熱による火災やけがの原因になります。 ●自動車、バイク、自転車など、乗り物の運転中は絶対に使用しない 交通事故の原因となります。 ●周囲の音が聞こえないと危険な場所(踏切、駅のホーム、工事現場、車や自転車の通る道など)では使用しない 事故の原因となります。 ●外部の音が聞こえない音量で使用しない 本製品は密閉度が高く、外部の音が聞こえにくくなります。周囲の音が聞こえる音量で、安全を確かめながら使用してください。 ●幼児の手の届く場所に置かない 誤飲など、事故の原因になる場合があります。

	注意
●大音量で耳を刺激しない 耳をあまり刺激しない適度な音量でご使用ください。大音量で長時間聴くと聴力に悪影響を与えることがあります。 ●肌に異常を感じた場合は、使用しない すぐにご使用を中止してください。症状が回復しない場合は、医師の診断を受けてください。 ●使用中に気分が悪くなったら、使用を中止する 本製品を耳から外してください。	●使用後、本製品にイヤピースが付いているか確認する イヤピースが耳の中へ残り、取り出せない場合は、すぐに医師の診察を受けてください。 ●蒸れによりかゆみなどを感じた場合は、使用を中止する けがや事故の原因になります。

■ 充電ケースについて

	警告
●分解や改造はしない 感電、故障や火災の原因になります。 ●強い衝撃を与えない 感電、故障や火災の原因になります。 ●濡れた手で触れない 感電やけがの原因になります。 ●異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない 異常に気付いたらすぐに使用を中止して、お買い上げの販売店か当社サービスセンターに修理を依頼してください。 ●水をかけない 感電、故障や火災の原因になります。 ●本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない 感電、故障や火災の原因になります。 ●布などで覆わない 過熱による火災やけがの原因になります。	●本製品のバッテリージャックや付属の充電用USBケーブルに水分や異物がついた状態で充電しない 腐食・発熱・発煙・発火などによる故障や感電の原因になります。 ●付属の充電用USBケーブルの端子が曲がっていたり、差し込みが緩くなっている状態で充電しない 発熱・発煙・発火などによる故障や感電の原因になります。 ●付属の充電用USBケーブル以外で充電しない 故障や火災の原因になります。 ●ACアダプターを使用して充電する際、急速充電機能(5Vより大きな電圧を出力する)を有する機器で充電しない 故障の原因になります。

	注意
●直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない 故障、不具合の原因になります。	●火気に近づけない 変形、故障の原因になります。 ●ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない 変形、故障の原因になります。

■ 充電式電池について

イヤホン・充電ケースは、充電式電池(リチウムイオン電池)を内蔵しています。

	危険
●電池の液が目に入ったときは目をこすらない すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、医師の診察を受けてください。 ●電池の液が漏れたときは素手で液を触らない – 液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。 – 液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。 ●火の中に入れない、加熱、分解、改造しない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。	●釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けない 発熱、破損、発火の原因になります。 ●落下させたり強い衝撃を与えない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 ●水に濡らさない 発熱、破裂、発火の原因になります。 ●以下の場所で使用、放置、保管しない – 直射日光の当たる場所、高温多湿の場所 – 炎天下の車内 – ストープなどの熱源の近く 液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。

■ 内蔵充電式電池について

本製品を十分に充電しても使用時間が短くなった場合は、内蔵充電式電池の寿命が考えられます。その際は当社サービスセンターへご連絡ください。

サービスセンター ☎ 0120-887-416
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212)

■ 本製品を廃棄する場合 リサイクルのお願い

 内蔵充電式電池はリサイクルできます。本製品を廃棄するにあたり、リサイクルにご協力いただける場合は本製品を次の宛先まで着払いにてお送りください。なお、電池を取り出したあとの本製品は返却いたしかねますのであらかじめご了承ください。

Li-ion

送り先: 〒915-0003 福井県越前市戸谷町 87-1
株式会社オーディオテクニカフクイ
二次電池回収担当 宛
TEL : 0778-25-6736(電池回収専用)

■ 適合機種について

Bluetooth対応携帯電話の適合リストについては、当社ホームページまたはお客様相談窓口でご案内しています。	
https://www.audio-technica.co.jp/support/	
●右のQRコードからアクセスできます。	

本製品は、各国の電波法の適合または認証を取得している国でのみ使用できます。販売国以外では使用できません。

アフターサービスについて
本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先(電話受付/平日9:00～17:30)
製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。

お客様相談窓口(製品の仕様・使いかた)
☎ 0120-773-417
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0211)
FAX: 042-739-9120
Eメール: support@audio-technica.co.jp

サービスセンター(修理・部品)
☎ 0120-887-416
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212)
FAX: 042-739-9120
Eメール: servicecenter@audio-technica.co.jp

ホームページ(サポート)
https://www.audio-technica.co.jp/support/

ATH-CKS50TW-L ATH-CKS50TW-R
 001-A17935  001-A17934

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1
www.audio-technica.co.jp
©2021 Audio-Technica Corporation

■ 使用上の注意

- ご使用の際は接続機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 万一、接続機器のメモリーなどが消失しても、当社では一切責任を負いません。
- 交通機関や公共の場所では、他の人の迷惑にならないよう、音量にご注意ください。
- 接続する際は、必ず機器の音量を最小にしてください。
- 乾燥した場所では耳にピリピリと刺激を感じることがあります。これは人体や接続した機器に蓄積された静電気によるもので本製品の故障ではありません。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。また水がからないようにしてください。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線(特に直射日光)や摩擦により変色することがあります。
- 充電用USBケーブルを接続した状態で、充電ケースをそのままバッグやポケットなどに入れると充電用USBケーブルが引っ掛かり、断線や故障の原因になります。
- 充電用USBケーブルを使用する際は、必ずプラグを持って抜き差ししてください。充電用USBケーブルを引っ張ると断線や事故の原因になります。
- 充電用USBケーブルを使用しないときは、必ず充電ケースから充電用USBケーブルを取り外してください。
- 本製品を使用しないときは、付属の充電ケースに収納してください。
- 付属のイヤピース以外を使用した場合、充電ケースにイヤホンが入らなくなったり、正しく充電ができない場合があります。必ず付属のイヤピースを使用してください。
- 本製品を使用する際は、付属のイヤピースから耳にフィットする最適なものを選び、しっかりと装着してください。
- 本製品の機能にある受話は、携帯電話回線を使用した受話に限り有効です。それ以外(アプリなど利用してバケット通信を介している電話)は、動作保証できません。
- 本製品の近くに電子機器や発信機(携帯電話など)があると本製品にノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- テレビやラジオのアンテナ付近で使用すると、テレビやラジオにノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- 内蔵充電式電池を保護するため、半年に一度は充電を行うようにしてください。放置しすぎると充電式電池の持続時間が短くなる、充電しなくなるなどの恐れがあります。
- 本製品を充電する際は、直射日光を避け、風通しの良い場所(10～35℃)で充電してください。電池の劣化を招き、連続使用時間が短くなる、充電ができなくなるなどの恐れがあります。
- イヤホンが濡れている場合は、乾いた布で水分を完全に拭き取ってから充電ケースに入れてください。充電ケースは防水/防滴仕様ではありません。イヤホンに水分がついた状態で充電を行わないでください。
- 本製品のヒアスルー機能は、内蔵されているマイクにより、本製品を装着したままで周囲の音が確認できるモードです。再生している音楽などの音量によっては、周囲の音が聞こえづらい場合があります。その場合は、音楽などの音量を小さくしてください。
- 本製品のヒアスルー機能を使用しても、周囲の状況などによって、周囲の音が聞き取りにくい場合があります。交通量の多い場所など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では、本製品を使用しないでください。

■ アクティブノイズキャンセリング機能について

本製品に内蔵されたマイクロホンで周囲の環境騒音(乗り物の騒音やエアコンなどの空調音など)を收音し、その逆位相音を出して騒音を打ち消す仕組みになっています。その結果、環境騒音が低減して聞こえます。

- 本製品のノイズキャンセリング機能は、主に低い周波数帯域の騒音に対して効果的ですが、すべての騒音が消えるわけではありません。
- 静かな場所や騒音の種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない場合があります。
- 本製品の装着のしかたによっては、ノイズキャンセリング効果が減少したり、ピーという音(ハウリング)が出る場合があります。このような場合は、本製品を装着し直してください。
- ノイズキャンセリング効果を最大限に発揮するために、付属のイヤピースから左右それぞれ周囲の音が最も聞こえなくなる遮音性の高いイヤピースを選択し、しっかりと装着してください。
- 列車、バスやトラックなどといった自動車で本製品をご使用の場合、レールや路面状況によっては、ノイズが発生することがあります。

■ 本製品の接続がうまくいかない場合は

ペアリングが解除できない、接続できない場合、強制的にペアリングモードにすることで再度ペアリングを行うことができます。操作するときは、イヤホンが充電ケースから離れないように押さえながら行ってください。

1. L/R(左/右)両方のイヤホンが充電ケース(電池残量がある状態)に取り付けたあと約5秒後に、両方のイヤホンのマルチファンクションボタンを長押し(約6秒)します。
2. 両方のイヤホンのインジケータが赤色点灯したあと、イヤホンが充電ケースから取り出します。
 - 本製品が「機器検索中」状態(ペアリングモード)に切り替わり、接続したいBluetooth機器とのペアリングを行うことができます。
- 手順通りにできなかった場合は、イヤホン再度取り出してからもう一度同じ操作を行ってください。

■ 本製品の動作がおかしい場合は

本製品をリセットしてください。操作するときは、イヤホンが充電ケースから離れないように押さえながら行ってください。

1. L/R(左/右)両方のイヤホンが充電ケース(電池残量がある状態)に取り付けたあと約5秒後に、両方のイヤホンのマルチファンクションボタンを2回短押しします。
2. 両方のイヤホンのインジケータが白色点滅をはじめたことを確認し、充電ケースに取り付けた状態のまま両方のイヤホンのマルチファンクションボタンを長押し(約6秒以上)します。
 - 両方のイヤホンのインジケータが赤色点灯し、そのあと白色点灯に変わるのを確認してから指を離してください。リセットが完了します。
3. Bluetooth機器側から本製品の登録を削除します。



インジケータ

マルチファンクションボタン

4. 再度イヤホンが充電ケースから取り出して、ペアリングを行います。
 - 手順通りにできなかった場合は、イヤホン再度取り出してからもう一度同じ操作を行ってください。

■ 防滴性能について

- 本製品の防滴性能はイヤホン本体のみの仕様です。
- イヤホン本体はIPX4相当の防滴処理を行っていますが、音が出る部分は防滴仕様ではありません。
- 防滴仕様は、雨などで濡れた場合の保護を目的で設計されています(IPX4相当)。JIS保護等級IPX4とは、あらゆる方向からの、飛まつに対して本体機能を保護されていることを意味します。
- 水中では使用できません。
- お風呂などの高温多湿の場所では使用できません。
- 防水仕様ではないため、水をかけたり、水に浸けると故障の原因になります。
- イヤホンが濡れている場合は、十分な性能が発揮されない恐れがあります。イヤホンに乾いた布を当てて、複数回振って水分を取り除いたあと、十分に乾かしてからご使用ください。詳しくは当社ホームページ掲載の取扱説明書をご確認ください。

■ Bluetooth®製品について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。そのうえで、当社お客様相談窓口にご連絡頂き、混信回避のための処置についてお問い合わせください。
3. その他、この機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合やご不明な点がございましたら当社お客様相談窓口までお問い合わせください。

2.4FH1
この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、干渉距離は10mです。

本製品は日本の電波法の技術基準に適合しています。本製品を総務省の許可なしに改造して使用することはできません。これに違反すると法律により罰せられます。

■ ほかの機器との同時使用

Bluetooth搭載機器・無線LANを使用する機器・電子レンジなど、本製品と同一周波数帯(2.4GHz)の電波を使用する機器の影響によって音声が届かなくなるなど電波干渉による障害が発生することがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性もあるため、次の点に注意してください。

- 本製品と同一周波数帯(2.4GHz)の電波を使用する機器を離して設置する。
- 病院内では使用しない。

■ 使用上の注意

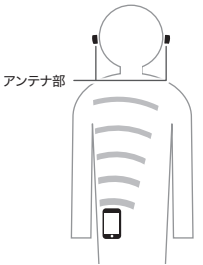
本製品と接続する機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。Bluetooth標準規格に適合していても、特性や仕様によっては、本製品と接続できない場合や、操作方法や動作が異なる場合があります。

■ 通信距離について

障害物や他の電子機器との電波干渉の影響を受け、通信距離内でも音切れが発生する場合があります。そのような場合は、イヤホンがBluetooth搭載機器の近くに使用してください。

■ Bluetooth通信をより快適にお楽しみいただくために

本製品の有効な通信範囲は障害物や電波状態によって変動します。本製品を快適にお楽しみいただくために、本製品とBluetooth機器をなるべく近づけてご使用ください。本製品のアンテナ部とBluetooth機器の間に人体やそのほか障害物がないことで、ノイズや音の途切れを最小限に抑えることができます。



アンテナ部